

(1) 交差点交通量調査について

交差点交通量調査

調査日 : 2023年11月21日 (木)

※過年度調査

地点 1 : 2020年10月7日 (水)

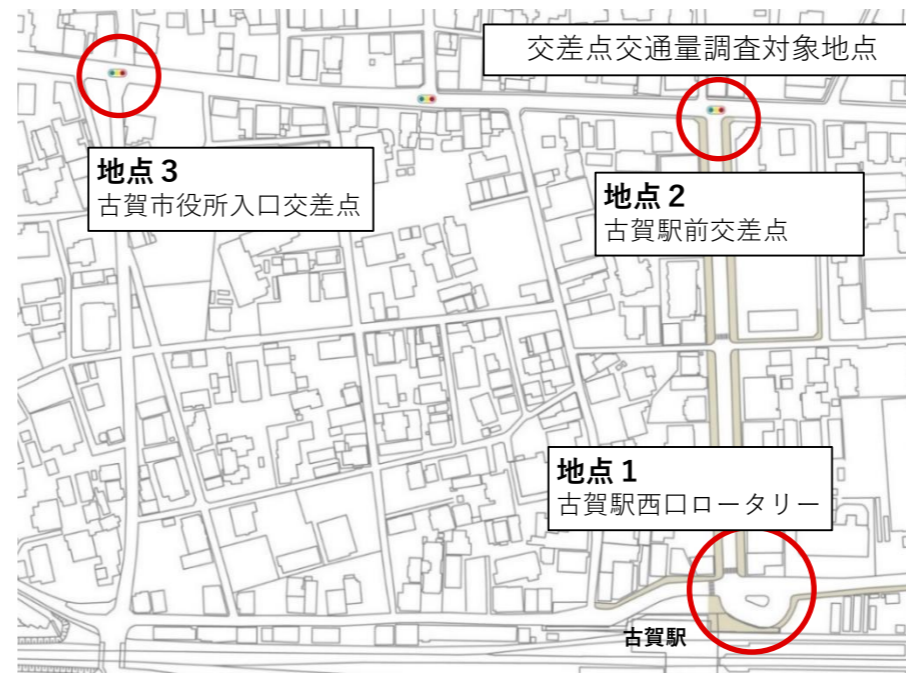
地点2,3 : 2022年12月1日 (木)

時間帯 : 7:00~19:00

対象箇所 : 地点1~3

調査方法 : 調査対象地点を通過する車両を、方向別・時間帯別・車種別に計測

→交通社会実験期間中に調査を実施し、過年度調査結果と比較



【交差点交通量調査結果】

地点1 古賀駅西口ロータリー (過年度比較)

- 交通規制により駅間をロータリー化、南方向を進入禁止にしたことにより、総流入交通量が減少 (北→南は規制により100%減だが、南→北方向も減少)
- 南側進入禁止の迂回として、西側・国道方面の交通量が増加 (一部は国道を通らず街なかを迂回と想定)

地点2 古賀駅前交差点 (過年度比較)

- 古賀駅西口から南側への車両 (B→C) が増加。地点1 (西口駅前) での南側進入禁止による迂回車両と想定される。

地点3 古賀市役所入口交差点 (過年度比較)

- 地点2 (古賀駅前交差点) での南側方面への交通量増の影響で、北側からの交通量増。東側 (A→B) への交通が増加しており、交通規制により市役所方面へ迂回していることが想定される。
- 逆方向 (B→A) の増加はみられなかった。

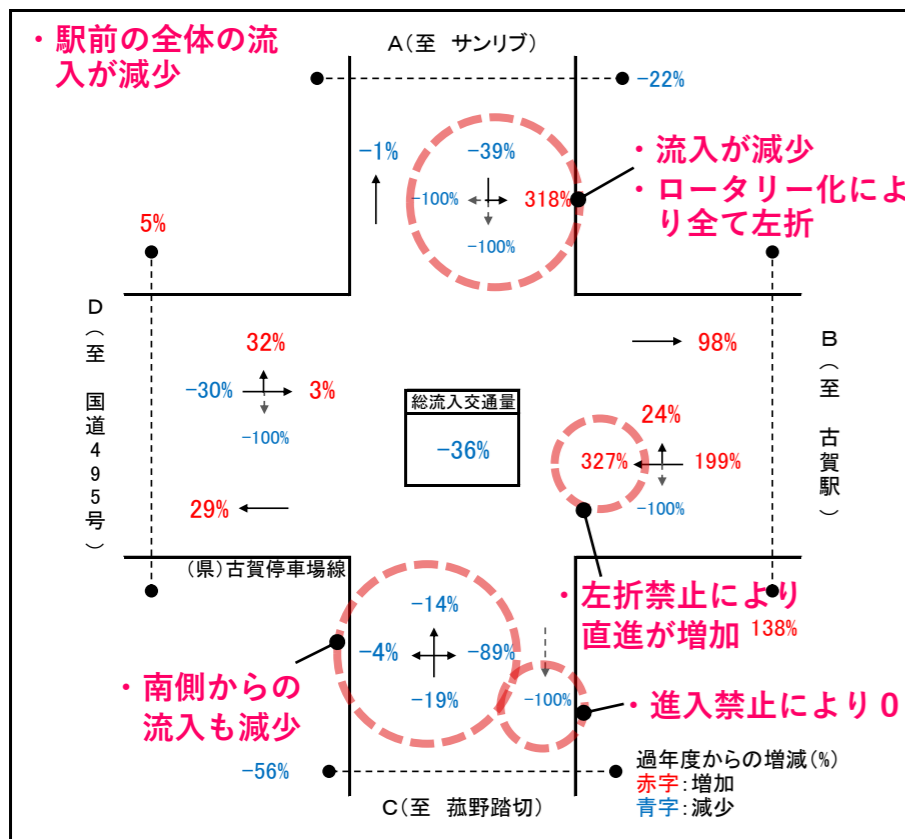


図 自動車類交通量図【12時間(7:00~19:00)】

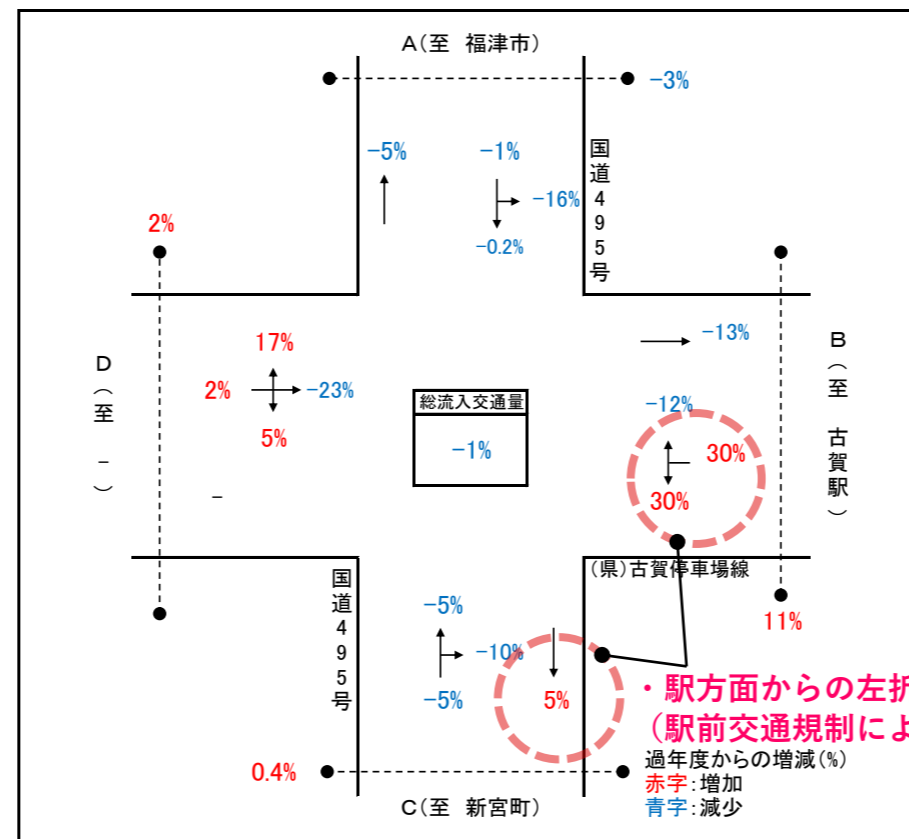


図 自動車類交通量図【12時間(7:00~19:00)】

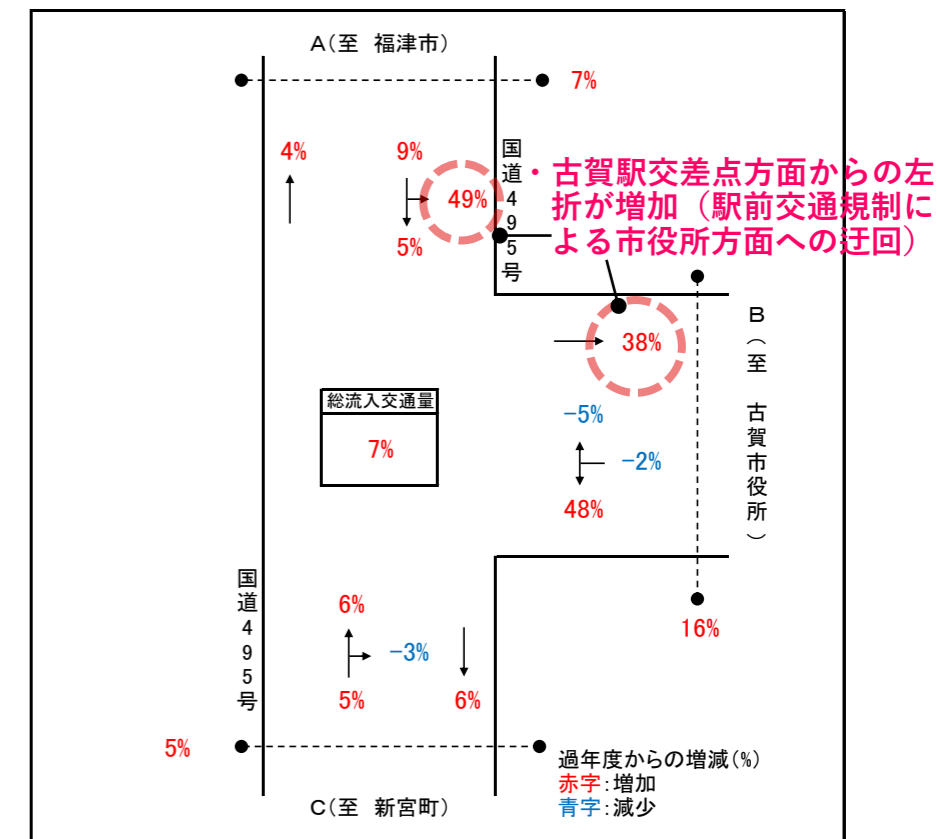


図 自動車類交通量図【12時間(7:00~19:00)】

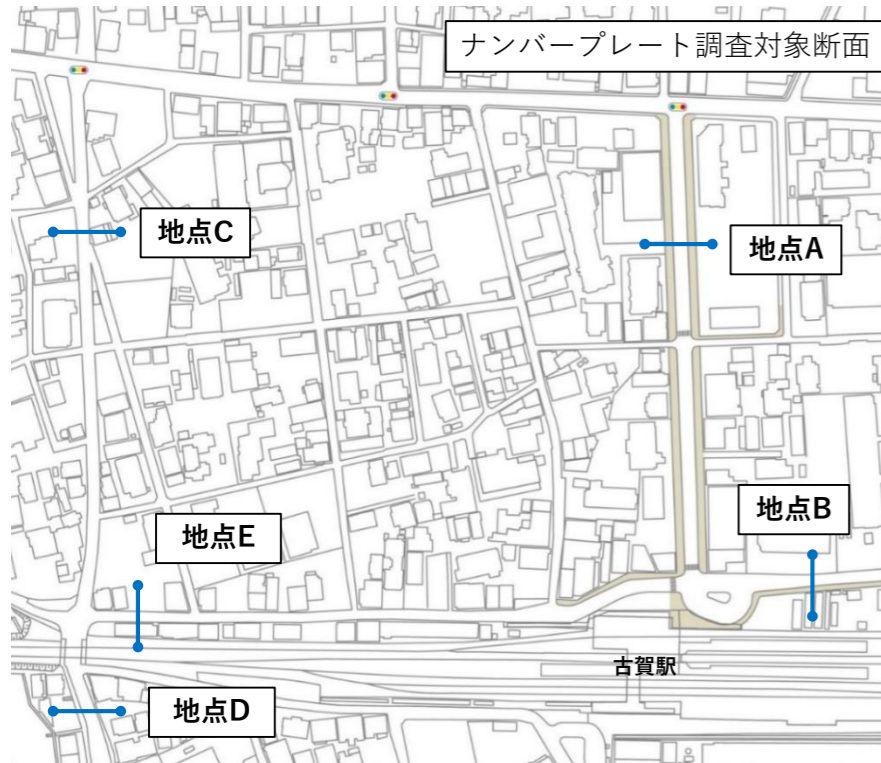
→駅前周辺の交通量(流出入)が減少し、周辺の交差点で迂回と想定される交通量が増加(解析の結果、交差点処理能力の問題は生じていない)

(2) ナンバープレート調査について

ナンバープレート調査

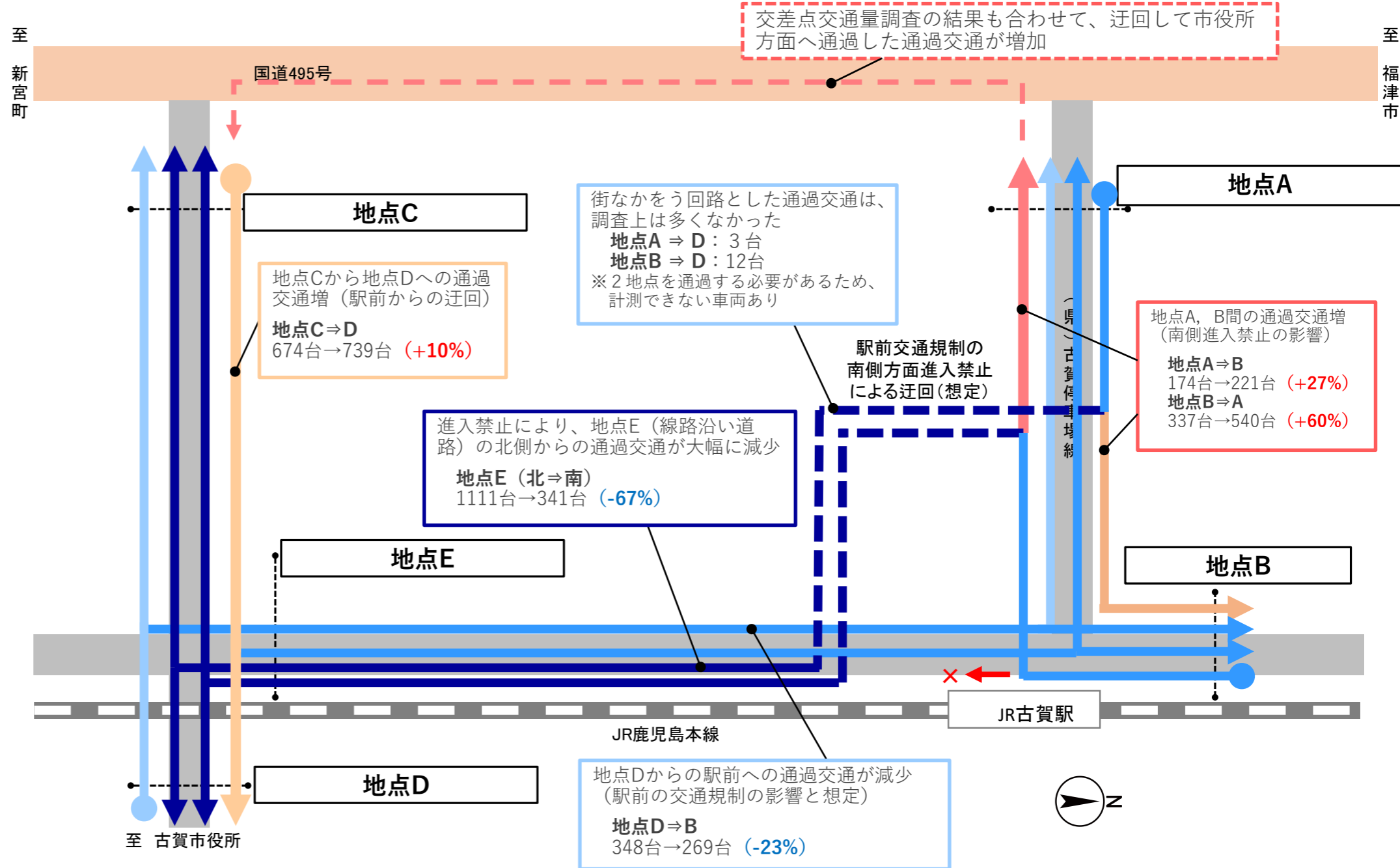
調査日 : 2023年11月21日 (木)  
 ※昨年度調査2022年12月1日 (木)  
 時間帯 : 7:00~19:00  
 対象箇所 : 地点A~E  
 調査方法 : 対象断面を通過する車両の観測時刻、  
 車種分類番号、車両番号を方向別にICレコーダーに録音し集計。  
 車両が通過した2断面をマッチングすることで、  
 車両が移動したルート及び時間を整理。  
 移動時間10分以内の車両を通過交通扱いとした。

→交通社会実験期間中に調査を実施し、昨年の調査結果と比較



調査日	2023年11月21日 (木) ※過年度2022年12月1日 (木)
時間	7:00~19:00
調査内容	観測方向：上り、下り別 観測項目：時刻 (時・分) 車種分類番号 1桁 車両番号 4桁 観測単位：概ね1分ピッチで観測時刻を録音 観測車種：自動車類のみ対象

各ルートの通過交通増減 (昨年との比較)



R4年からの増減 (%)

- ➡ 50%以上減
- ➡ 10~50%減
- ➡ 0~10%減
- ➡ 0~10%増
- ➡ 10~50%増
- ➡ 50%以上増

➡駅前南側進入禁止により、多くのルートで大幅に通過交通が減少 (進入禁止をしていないルートでも減少)

➡一部で迂回と想定される交通が増加 (駅前→国道495、国道495→市役所方面)  
 ※交差点処理上の問題はなし